

応援します、生涯学習 - 伝える知識と仲間の輪 令和7年1月1日発行



あい風通信

63号

(学びのスタンプ通算 70号)



年頭所感

新しい年「不易と流行を考える」

運営委員長 山田 治己

新しい年を迎え、皆様お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年は加藤龍幸市長によるエネルギー講話をはじめ講師の皆様にご理解とご協力を頂き、主催講座・まちの先生企画講座合わせて計15講座・35回を実施、多くの受講者に好評を博すことが出来ました。改めて感謝とお礼を申し上げます。

当カレッジは今年17年目を迎えます。近年、SNSの普及やAIの進化などもあり、社会が大きく変化中、何が真実か、時代の中で変化するもの(流行)、変えてはいけないもの(不易)を見極める「力」が必要になっていることを痛感しております。今年も引き続きカレッジ生の皆様のニーズを踏まえ、協働しながら時代の要請をとらえた講座の提供に努めて参りますので多くの皆様に受講して頂き、ともに学ぶことが出来るようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀❀❀ 本年度最後の主催講座です ❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀

講座 13 太平洋戦争に翻弄された道民史

講師 森山 祐吾 北海道史研究家・ノンフィクション作家

- 第1回 「近づく大戦の足音」
日時 2月22日(土) 10:30~12:00
- 第2回 「戦争へ国家総動員」
日時 3月1日(土) 10:30~12:00
- 第3回 「大戦勃発と戦力増強」
日時 3月8日(土) 10:30~12:00
- 第4回 「空爆そして終戦、平和の願い」
日時 3月15日(土) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター



＜軍需工場で働く道愛女学校の生徒＞
昭和20年3月11日付「北海道新聞」

◇令和7年は戦後80年の大きな節目の年。講座では著名な北海道史研究家から意外と知られていない太平洋戦争に翻弄された道民の生活について学び、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に語り継いでいくことの重要性を再確認する機会とします。

今なら
特典あり

新規カレッジ生募集中

カレッジ生のみなさま、ご協力をお願いします！

今、令和7年度の新規に登録していただくと、6年度最後の講座13(全4回)を、受講料1回500円(一般700円)で受講できる特典があります。～知人友人にカレッジを紹介いただき、学びの輪を広げましょう～

◆手続きは簡単

- ・まずは、事務局へ電話で申込み
- ・年度会費1,000円を事務局へ
- ・講座受講時受付でもOKです
- *事務局→4頁巻末をご覧ください

◆カレッジ生になると

- ・学びの手帳、ポイント、修了証付与
- ・受講料500円(一般700円)
- ・見学学習などバス定員超過の場合優先
- ・各種カレッジ情報の提供 など

市民カレッジデータ

- (12月20日現在)
- 登録者～1111人
- 連携団体～104団体



ロゴ制作者
丸山英里子さん

主催講座 12 まちの先生企画講座 5

来年度の講座概要がまとまりました

4月からスタートする令和7年度の講座概要がまとまりました。多くの受講者提案をはじめ運営スタッフ提案の中から協議の結果、主催講座として12講座（コマ数28回、うち見学学習5回）を実施する内容となっています。

コース別にみると「教養・文化コース」が7講座と多く、次に「いしかり学コース」が4講座、「スキルアップコース」1講座となっています。

このうち教養・文化コースでは、北海道の宇宙産業や今話題のAI（人工知能）について学ぶ講座のほか、戦後80年にちなんだ歴史講座や北海道遺産を巡る見学学習も予定しています。「いしかり学コース」では、石狩市の過去・現在・未来の視点から講座を企画し、我が街を見つめます。まちの先生企画講座については5講座を企画し、新しい試みとして札幌交響楽団フルート奏者の講師による講座も予定しています。

令和7年度 主催講座の概要

| コース名 | 講座名 |
|--------|------------------------|
| いしかり学 | 石狩市都市計画マスタープランとスマートシティ |
| | 石狩湾新港 30年の歩みと今後の展望 |
| | 遺跡を通して知る石狩のむかし |
| | 石狩歴史散歩 本町地区ほか |
| 教養・文化 | アイヌもやもや |
| | パレスチナを中心とした難民問題の実情 |
| | 日本降伏を巡る米ソの暗闘 |
| | 北海道の宇宙産業とその未来 |
| | AIって何だろう？どう役に立つの？ |
| | 北海道だけにあったオホーツク文化・擦文文化 |
| スキルアップ | 空知の北海道遺産を訪ねる |
| | 初心者のための初心者の俳句教室 |

まちの先生企画講座

| |
|----------------------------|
| 手作りの塩麴・醤油麴・玉葱麴で健康的な食事を |
| ペーパークラフト小物づくり |
| いつもの暮らしから災害時や子育てにも使える風呂敷講座 |
| フルートとオーケストラ |
| 石狩市の花・木・鳥 |



主催講座 9

加藤市長が石狩市のエネルギー構想について講演



加藤龍幸石狩市長（学長）は10月3日（木）、主催講座9「躍進する石狩湾新港」において48名の受講者を前に石狩市のエネルギー構想について講演しました。このなかで市長は近年急ピッチで進む石狩湾新港の洋上風力発電等の状況を分かりやすく説明。石狩市としての再エネ地産地活の取り組みと今後の展望について熱のこもった講話に「再エネ策が地域振興の起爆剤と聞き、石狩市の将来に明るい希望を持てた」との受講者の声が聞かれるなど大好評でした。

講座は市長講話のあとバスで石狩湾新港地域の再エネ関連施設を見学、間近に見る巨大な14基の洋上風力発電施設のスケールに多くの受講者が感激していました。

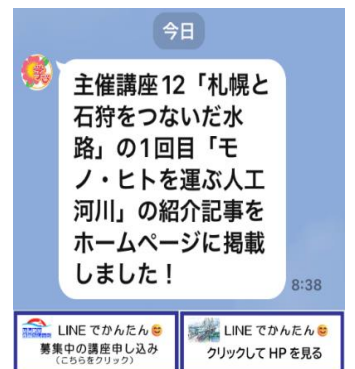


カレッジ公式ラインに登録を!!

登録すると講座内容や日程、申し込み締め切り日、ホームページの講座紹介記事掲載のお知らせ、緊急連絡などの情報を受け取ることができます。

スマホで右下のQRコードを読み取ると簡単に登録できます。登録して画面下の①「募集中の講座申し込み」をクリックすると講座申し込みの画面に、また、②「クリックしてHPを見る」からは市民カレッジのホームページに簡単につながることができて、非常に便利です。

ぜひ登録して下さい!!



①

②

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた
ご感想・ご意見の一部を要約して紹介しています

講座9「躍進する石狩湾新港～市長によるエネルギー講話と石狩湾新港地域再生関連施設見学」

「初めて市長から現在の取り組みの一端、エネルギー問題、まちづくりへの具体的なビジョンなど分かりやすいお話が聞けて大変良かったと思っています」「石狩の現状と将来の可能性を現市長から聞けて大変良かったと思います。市長さんの力強い説明から再生エネ策が地域振興の起爆剤となっていると伺い、石狩の将来に明るい希望を抱きました」



講座10「北海道バレー構想と石狩～」

「AI、半導体とは何ぞや～。少々わかったように思いました」「山本講師から説明があり、北海道が取るべき戦略、半導体製造拠点を持つことで再生可能エネルギー、最先端半導体製造拠点、半導体利用技術の開発拠点としての必要性等を詳しく考察させて頂きました」「ふつつ立ち入ることが出来ないデータセンターの見学、良かったです」「素晴らしかった。石狩の未来、明るいものがありそう。長生きしなくちゃ」「データセンターとそのゼロエミッション、配送ロボット等、なんとなく興味をもっていたことが100%ではないがよくわかり、有意義でありました」



講座11「札幌と石狩をつないだ水路」

「北海道開拓にかかわって水路の歴史を大変興味深く聞くことができました」「札幌・篠路・銭函・石狩のつながり、関係した人物の働きと成果を学ぶ機会になりました」「特に新川開発に関わった先人たちに関してよく分かりました」「石狩の開拓も排水路・運河・道路の設置から始まり、殖民地区画が設定されたことが、現在住む街の形の基礎になったことが良く分かりました。また、実際の区画と磁石による方位のズレがあることに驚きを感じました」



講座12「野生動物のくらしと私たち」

「実に分かり易い映像の使用方法和具体的な話で、ヒグマの生態が良く分かった。」「資料は見やすかったが、より多くのデータを載せて欲しかった。話し方、音調は素晴らしく聞き易かった。」「クマが身近に感じ、講師のヒグマに対する愛が溢れていたのが、うれしかった。」「エゾシカに関する多くの情報を提供くださり、とても参考になりました」「シカを観光や食料としてだけではなく、他の活用方法を考えなければと感じました。」



(一社)エゾシカ協会

まちの先生企画講座4「手作り食品の楽しみ」

「シソ1つで3種類の料理レシピ、短時間でしかもおいしく出来上がり、大変良かった」「シソジュースの美しい色に感激しました」「今まで食べられないと思っていた青トマトのジャム！初めてでした」「イーストを使わないピザ？興味津々でしたが、出来上がりは思った以上でした。ソースも優しく体に良い物ばかりで満足ピザでした」「みんなで作ると楽しい！ピザを簡単に作れたので、子ども達と一緒に作ろうと思う」



ボランティアスタッフ 募集説明会を開催 1名が加入決定！

市民カレッジを持続発展させるためには市民のボランティアスタッフの役割は非常に重要です。今年度2回目の募集説明会を10月22日(火)13:30から花川北コミュニティセンターで行い、2名が参加されました。その後1名の方が両グループの会議に見学参加され、スタッフとして加入いただけることになりました。大変うれしいことです。一緒に活動できることを楽しみにしています。



第29回修了証授与式 3月中旬実施予定

カレッジ生の皆さま、学びの手帳スタンプ数を確認され、巻末の申請書に記載して事務局へ提出してください。修了証をゲットしましょう！



ひろば

ISHIKARI
CITIZEN'S
COLLEGE

チョコっと
いしかり学

《30》

石狩のエゾアカヤマアリ

いしかりのえぞあかやまあり

石狩ファイル 0137-01 (2014/1/15)
発行 石狩市教育委員会

1970年代、石狩海岸には約4万5000巣からなるエゾアカヤマアリ *Formica yessensis* のスーパーコロニーが広がり、保存されるべき生物現象として1983（昭和58）年版IUCN（国際自然保護連合）レッドデータブックに登録されました。以来、このスーパーコロニーは「世界最大なアリのコロニー」として知られるようになりました。

アリは通常、他種のアリ類はもちろん、同種でも、異なる巣間には必ず激しい敵対関係がみられます。ところが、石狩海岸のエゾアカヤマアリは、同種の巣間で敵対関係が全くみられないうえに、巣の廃棄、廃巣の再利用、新巣造りを繰り返して、その度にハタラクシアリや女王アリの巣間混合が起こっています。

1973（昭和48）年と1974（昭和49）年の調査によると、エゾアカヤマアリの巣は、石狩川河口左岸から銭函までの約13.5kmに約4万5000分布し、1巣あたりのハタラクシアリ数は約6800、女王数は24、全体で約3億600万個体のハタラクシアリと約108万個体の女王が一つのコロニーを形成していると推定されました。

このような一大コロニーができた原因については、いくつか考えられています。そのひとつは、石狩海岸ではオスの結婚飛行時間（7月末～8月の昼ごろ）に、陸からの風が吹きやすく、飛翔力のあるオスは皆、海へ飛ばされて死んでしまい、飛翔力のないオスが残って同じ巣の新女王と結婚することが多くなる現象です。しかしそれが主原因であれば、コロニー内の血縁度が高くなるはずですが、実際には血縁度は決して高くはないようです。次に考えられるのは、環境や餌が均一だからではないか、ということです。アリの仲間認識は体表の炭化水素の組成を手掛かりとしており、これには、巣材や餌メニューなどの環境条件が大きく左右すると考えられています。その点から見ると、石狩海岸は砂地で営巣環境がほぼ均一です。実際、スーパーコロニーは新川河口をはさんで両岸にひろがっていますが、もともとは別々に出来たコロニーに由来すると考えられています。それに対して、腐食土や粘土地に営巣している石狩川右岸のエゾアカヤマアリは左岸のアリとは敵対します。このように、スーパーコロニーができた理由については、いくつか推測されていますが、まだ正確には分かっていないようです。

1970年代には一大コロニーを形成していたエゾアカヤマアリも、1980年代から本格化した石狩湾新港開発やレジャー利用による海岸草原への車の乗り入れなどの影響で、巣の数は大きく減ってしまい、2000年代以降は最盛期の10分の1になってしまったと云われています。（石井 滋朗）

【参考文献】

- ・東正剛（2011）滅びゆくスーパーコロニー。北海道の自然 49, 39-45.
- ・石狩浜海浜植物保護センター（2005）はまぼうふう 16, 3-4.
- ・札幌市教育委員会編（1990）さっぽろ文庫 52/札幌昆虫記。札幌市教育委員会.



撮影：今井弘民・久保田政雄
（アリ類データベースより）

編
集
後
記

カレッジで受講した講座の内容と受講者の声は時をおかず HP にアップされています。受講者は受講講座を HP で復習をかねて学習できますが、聞き逃しの多いことに驚きます。HP 担当のスタッフはわかりやすい表現を心がけていることもあり、アップされた報告記事には感謝でいっぱいです。健康寿命のためには体と脳の運動が効果が大きいと言われます。いしかり市民カレッジは知的好奇心を満足させる講座を今年も用意してお待ちしています。（MK）

■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会
編集担当：鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課（石狩市民図書館内）
石狩市花川北7条1丁目26 TEL&FAX：0133-74-2249
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)